

保護者・地域のみなさまへ

《令和3年度1学期》

## 学校評価の結果と2学期重点努力目標

豊川市立一宮中学校

令和3年度1学期の学校評価の結果について、ご報告いたします。

4月のPTA総会において、本年度の教育方針と重点努力目標をお示ししました。本校では、全校体制でその目標を達成するように教育活動を進めています。

7月、生徒・保護者・教職員の三者に学校評価のアンケートを行いました。保護者アンケートにつきましては、個別懇談会の折にご協力くださり、ありがとうございました。

このアンケートの結果をさらに細かく分析し、新たに『2学期の重点努力目標』を設定しました。よい面はさらに伸ばし、好ましくない面は、一步でも改善するように努めていく所存です。今後ともご協力をよろしくお願い致します。

なお、本校のホームページにも掲載しますので、ご覧ください。本校のホームページへのアクセスは、次の方法で行ってください。

「豊川市立一宮中学校」で検索してください

☆ホームページには、学校評価以外にも本校についてのいろいろな情報が載っています。ぜひ、ご覧ください。

一宮中学校 学校評価委員会

# 1学期を振り返って

実施日	主なできごと
4月 8日 (木)	令和3年度入学式・1学期始業式 ※新生165名 ※体育館は新生・保護者のみ。新2・3年生は各教室で始業式を行う。
4月 9日 (金)	P T A新旧役員会
4月15日 (木)	退任式 ※退職・転任者12名
4月16日 (金)	P T A委員会
4月24日 (土)	授業参観・P T A総会 ※P T A総会は体育館(2・3年保護者)と多目的ホール(1年保護者)の2会場で開催。議事進行は体育館で行い、そのライブ映像を多目的ホールに配信。
4月26日 (月)	家庭訪問
~28日 (金)	
5月12日 (水)	愛知県に緊急事態宣言発令(6月20日まで)
5月14日 (金)	P T A委員会【延期】(6月25日~)
5月24日 (月)	中間テスト・P T Aあいさつ運動
5月25日 (火)	第1回学校保健委員会 講師:臨床心理士 山口 力 氏 演題「過去の自分・今の自分・未来の自分~自分を好きになるために必要なもの~」 ※1、2年生を対象に体育館で実施。
5月27日 (木)	全国学力・学習状況調査(3年)
6月 5日 (土)	第1回資源回収【延期】 ※1学期懇談会時に持ち寄り資源回収として実施
6月 7日 (月)	スクラム結成式 ※スクラム活動の始まりです。各スクラムのテーマを予め各スクラムで撮影した映像をZOOMで視聴しました。
6月 9日 (水)	3年実力テスト
6月18日 (金)	3年進路説明会
6月23日(水)	期末テスト
~25日(金)	
6月25日(金))	部活動決意表明会 ※各部活動の代表が多目的ホールに集まり、ZOOMを通して夏の大会に向けての決意を発表しました。 P T A委員会
7月 3日 (土)	市内総合体育大会
~11日 (日)	
7月14日 (水)	1学期個別懇談会
~16日 (金)	持ち寄り資源回収
7月20日 (月)	1学期終業式
8月25日 (水)	3年生保護者向け修学旅行説明会【紙面開催】 1年生保護者向け野外活動説明会【紙面開催】
8月27日 (金)	愛知県に緊急事態宣言発令(9月12日まで)
8月28日 (土)	学校サポーターによる校内草刈作業(約20名参加)
8月31日 (火)	3年実力テスト
9月 1日(水)	2学期始業式

## 令和3年度1学期末「生徒アンケート」結果

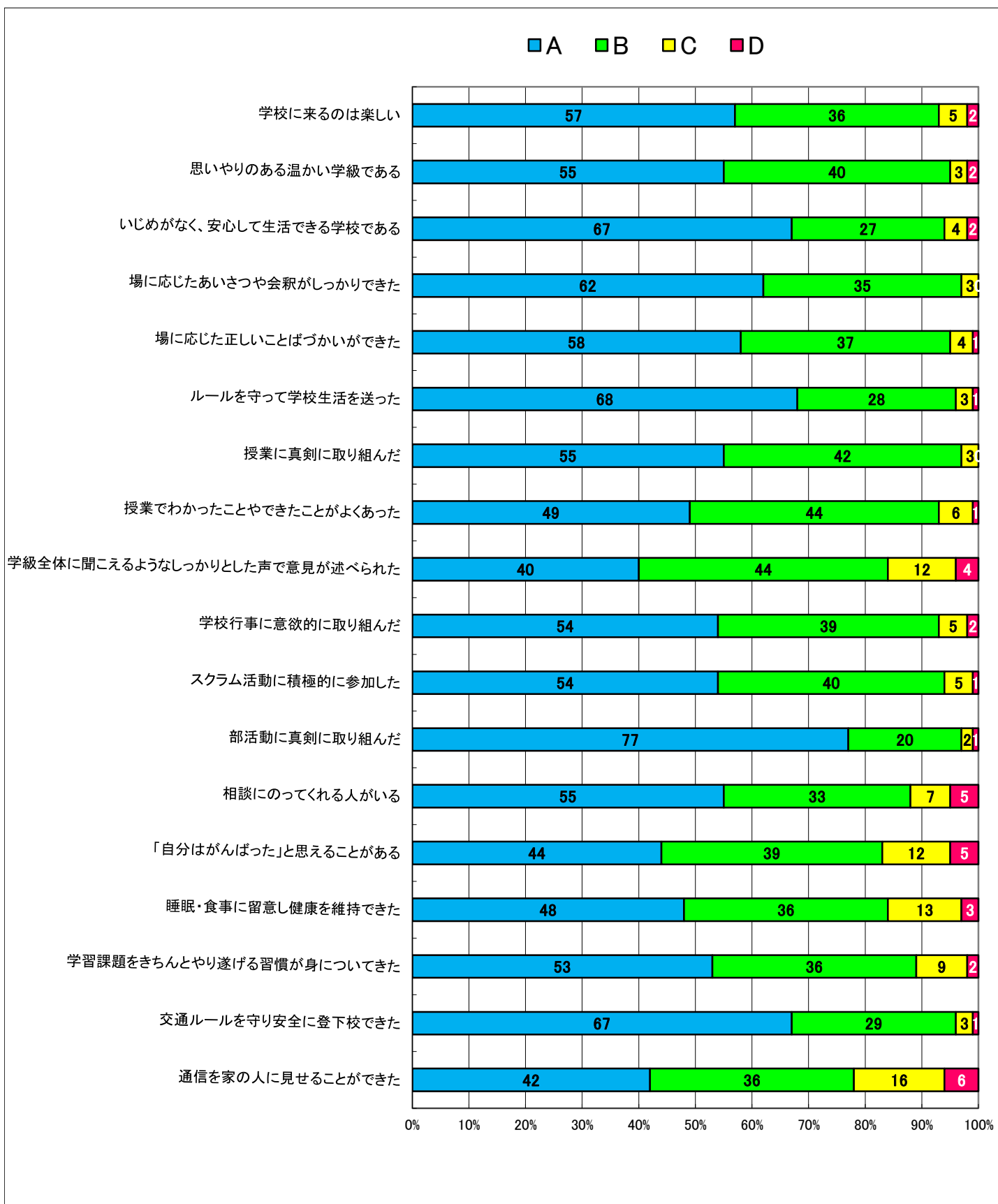
評価基準

A：そう思う

B：どちらかと言えばそう思う

C：どちらかと言えばそう思わない

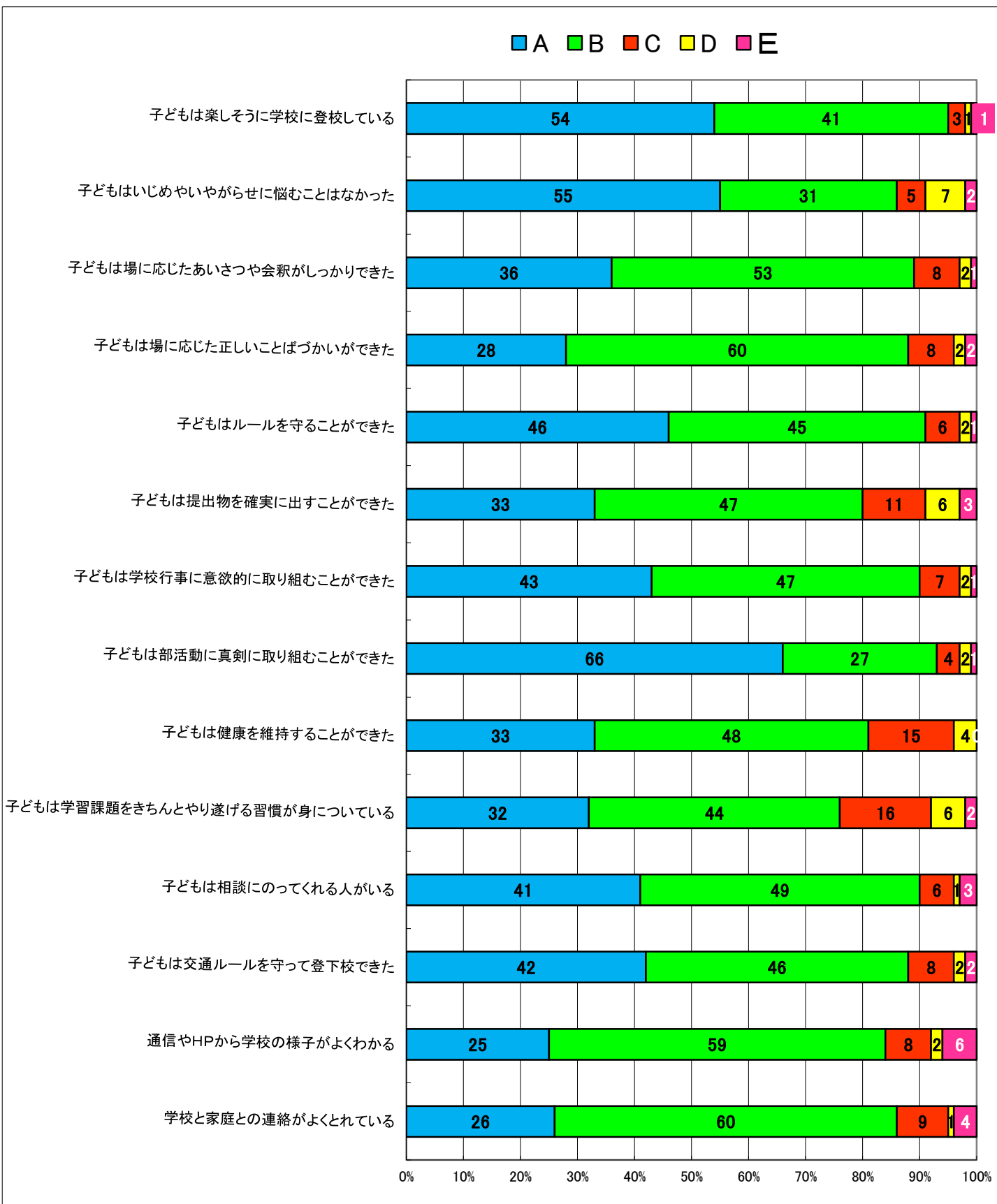
D：そう思わない



## 令和3年度1学期末「保護者アンケート」結果

評価基準

A：そう思う      C：どちらかと言えばそう思わない  
 B：どちらかと言えばそう思う      D：そう思わない      E：わからない



## 令和3年度1学期末「教職員アンケート」結果

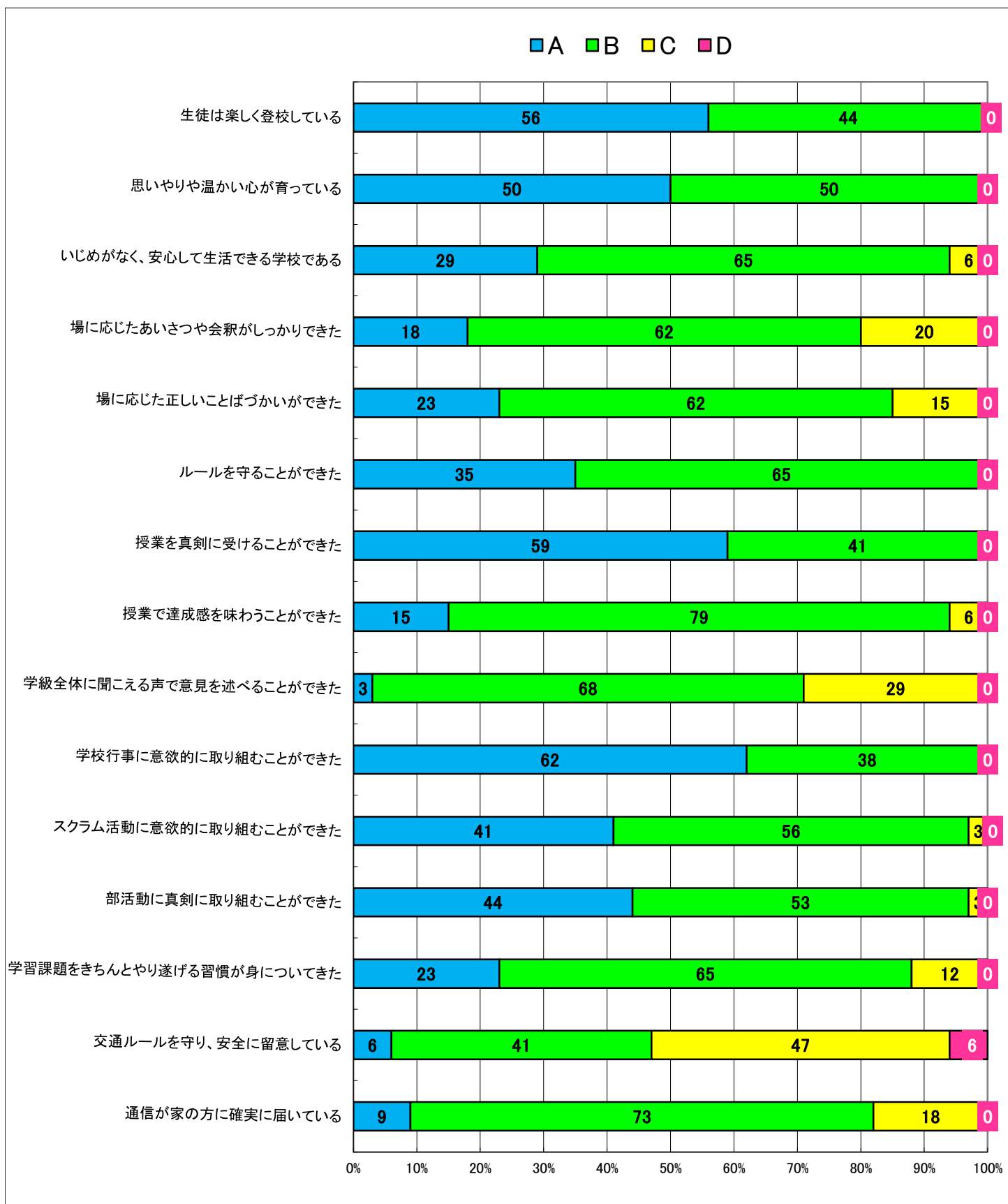
評価基準

A：そう思う

B：どちらかと言えばそう思う

C：どちらかと言えばそう思わない

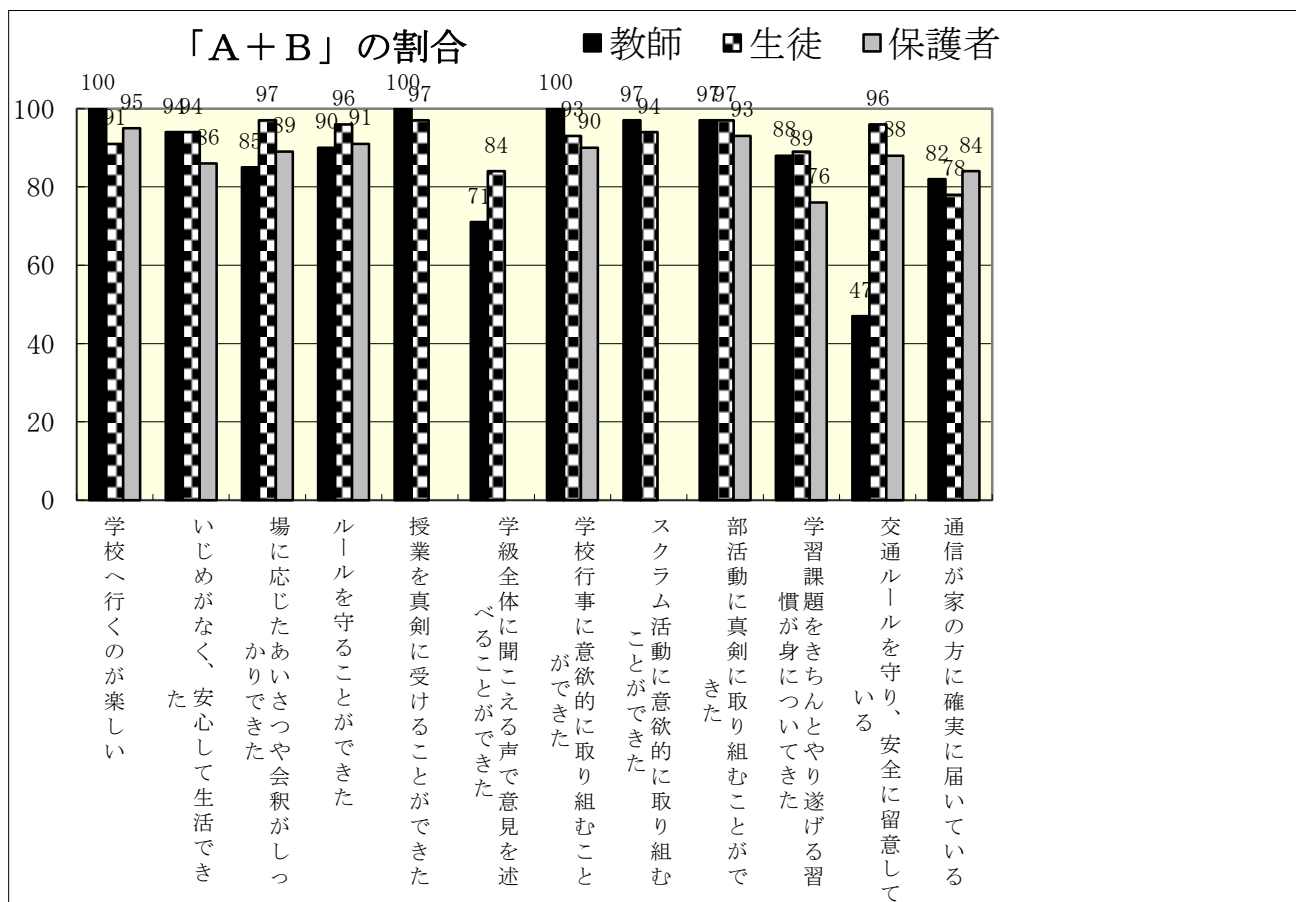
D：そう思わない



令和3年度 1学期末アンケート結果（教職員・生徒・保護者比較）

※ A「そう思う」 B「どちらかと言えばそう思う」の合計で比較しました。

※ アンケートの内容から抜粋したものが載っています。



【コメント】

教職員・生徒・保護者の三者とも、A+Bの割合が85%以上という好ましい結果が表れた項目

「学校に行くのが楽しい」

「いじめがなく、安心して生活できた」

「場に応じたあいさつや会釈がしっかりできた」

「ルールを守って生活できた」

「学校行事に意欲的に取り組むことができた」

「部活動に真剣に取り組むことができた」

教師・生徒が85%以上の項目

「授業を真剣に受けることができた」

「スクラム活動に意欲的に取り組むことができた」

令和2年度1学期末アンケートと比較して、三者（二者）の90%以上の高評価項目は昨年度と同様の項目である「学校へ行くのが楽しい」「ルールを守って生活できた」「学校行事に意欲的に取り組むことができた」「部活動に真剣に取り組むことができた」「授業を真剣に受けることができた」「スクラム活動に意欲的に取り組むことができた」でした。

今年度も授業については、参加意欲だけでなく理解度・満足度も生徒は昨年度同様90%以上であり、大変よい状況です。教師は常に生徒が自己肯定感を高めていけるような授業を展開するために研修を重ねている現状であり、高い評価を示しています。ただ、「学級全体に聞こえる声で意見を述べることが

できた」では昨年度に比べると数値は高まっていますが、まだ満足のいく評価ではありません。未だ収まらないコロナ禍の中、マスク着用で相手の表情が見えづらい状況であることも影響しているかもしれません。昨年度の1学期はコロナウイルス感染症拡大防止のための臨時休業があり、生徒の活動も立ち上がりが遅れ、十分な活動ができない場面がありました。今年度は制限があるものの、年度当初の予定通りの教育活動が進められています。今後も生徒が存在感を感じつつ自分の思いや考えを表出できるような取り組みを実践していきたいと思います。行事や生徒会活動なども可能な限り充実させ、少しでも活気に満ちた明るく魅力ある学校になるようにしたいと思います。

「いじめがなく、安心して生活できた」の三者の数値は昨年と比較してほぼ横ばいでした。数値が100になるように今後も日頃の教師と生徒の対話や教育相談活動、カウンセリングなどを通して、少しでも心が安らいたり、問題が解決できたりするような取り組みを続けていきます。

#### 昨年度1学期との比較（A+Bの割合が5%以上変化した項目のみ）

- 「スクラム活動に積極的に参加した」 → 生徒：+6%
- 「場に応じたあいさつや会釈がしっかりできた」 → 教師：+5%
- 「場に応じた正しいことばづかいができた」 → 教師：+18%
- 「授業を真剣に受けることができた」 → 教師：+6%
- 「学級全体に聞こえる声で意見を述べることができた」 → 生徒：+11% 教師：+15%
- 「学校行事に意欲的に取り組むことができた」 → 教師：+9%
- 「スクラム活動に意欲的に取り組めた」 → 教師：+6%
- 「交通ルールを守り、安全に留意している」 → 教師：-27%
- 「通信が家の方に確実に届いている」 → 教師：-6%

例年、高評価であるスクラム活動については昨年度に比べ増加しました。行事内容の制限やこれまで通りの取り組み方ができないことがある中でも、生徒はスクラム活動が充実したものになるように努力したことの評価だと考えます。今後も一中の伝統であるスクラム活動を支援していきたいと思います。教師アンケートと生徒アンケートの評価に大きな隔たりがある項目がありました。「交通ルールを守り、安全に留意している」についてですが、日ごろ地域の方々に自転車の乗り方や登下校の仕方についてご指導を頂いています。その都度、学校内では交通安全や登下校について指導したり、校外巡視を実施したりしています。教師は危機感を感じていますが、生徒はルールを守り、安全に留意していると答えます。そのギャップをどう埋めていくかが交通安全に対する課題だと考えます。引き続き、通学路の見回りを実施したり、学校周辺に教師を配置して下校指導を行ったりしていきます。生徒はきちんとヘルメットを着用していますが、自転車の危ない乗り方や並進、道いっぱいに広がって歩くなど、交通マナーが守れないときがあります。生徒の交通事故防止に努めるとともに、地域の方に迷惑をかけないように指導していきます。何かありましたら学校まで連絡をお願いします。

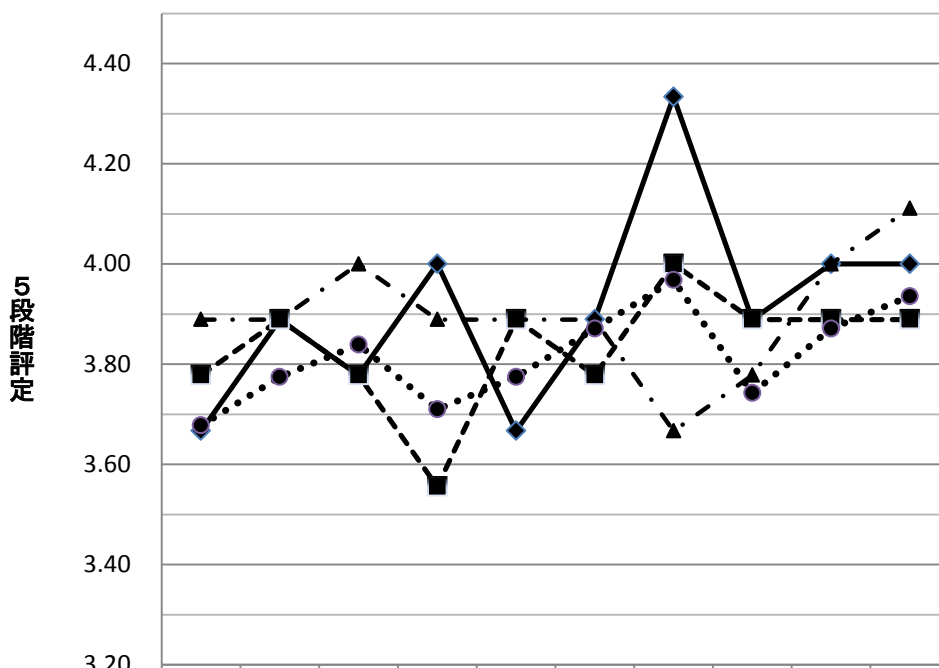
学校の様子については学校通信・学年通信・保健だよりなどを、お子様を通じてお知らせしています。また、ホームページでも積極的にお伝えしています。ぜひ、ご覧ください

☞「[豊川市立一宮中学校](#)」で検索してください。

今後も、学校と家庭・地域が連携をとり合い、生徒の健やかな成長を願って、教育活動を進めていこうと思います。ご家庭での会話の機会を大切にするなど、ご協力をよろしく願いいたします。

# 1 学期 学校経営評価のまとめ

## 1 学期・学校経営評価



	1	2-1	2-2	2-3	3-1	3-2	4	5	6	7
◆—●—1年	3.67	3.89	3.78	4.00	3.67	3.89	4.33	3.89	4.00	4.00
---■---2年	3.78	3.89	3.78	3.56	3.89	3.78	4.00	3.89	3.89	3.89
-▲-3年	3.89	3.89	4.00	3.89	3.89	3.89	3.67	3.78	4.00	4.11
●●●全体	3.68	3.77	3.84	3.71	3.77	3.87	3.97	3.74	3.87	3.94

項目の全平均	
1～3年	3.88
全 校	3.82

昨年度の全平均	
1～3年	3.97
全 校	3.97

アンケート内容	1. 教育目標の具現化に向けた取り組み (自ら学び、自ら考え、豊かな心を持って、たくましく生きる生徒の育成)
	2. 本年度の重点努力目標に対する具体的な取り組み
	(1) 生徒一人ひとりに生きる喜びと自信を持たせる心づくり (生徒指導)
	(2) 確かな学力と豊かなコミュニケーション能力づくり (学習指導)
	(3) 信頼される学校づくり
	3. 「学校運営機構」に対する取り組み
	(1) 校務分掌
(2) 部活指導	
4. 「現職研修」に対する取り組み	
5. 「教科指導」に対する取り組み	
6. 「学年経営」に対する取り組み	
7. 「学級運営」に対する取り組み	

- ・ 昨年度 1 学期と比べ、全体の評価の下がった項目が多い。昨年度は研究発表があり、忙しい中にも充実した取り組みを 1 学期間行っていたのではないかと。発表が終わった本年度は、新学習指導要領実施年度でもあり、コロナ感染防止対策に引き続き取り組まなければならないこともあり、学校経営に難しさを感じている教員が多いことが伺われる。
- ・ 昨年度 1 学期と比べ、【2-2 確かな学力と豊かなコミュニケーション能力づくり】【3-2 部活指導】の 2 項目が上昇している。【2-2】については、今まで現職研修で取り組んできた成果であり、教師一人一人が確かな学力をつけ、どの教科においてもコミュニケーション能力を高める取り組みを進めている成果である。【3-2】は、コロナ禍の中、時間をうまく使って指導する体制作りができつつあることが伺われる。今後も働き方改革のもと、充実した部活動指導を心がけていく必要がある。





## 2 2学期の重点努力目標

### ア 生徒・保護者ともに、学校が楽しい場であるという気持ちが高まりました。

不安を抱えたり自信をもてないでいたりする生徒が若干増加しているようです。全体的な傾向が明るく楽しいことに安心せず、一人ひとりを大切に、注意深く見ていくことや声をかけていくことが大切だと思われま

- ☞ **朝の読書や健康観察時に、その日のうちに声をかける生徒を決めて「今日も元気だね」「ん？なんか元気ない？大丈夫？」など、教師側から積極的な声かけをします。**

### イ 学習に前向きな生徒が増えました。特に、しっかりと意見を述べることができると自信をもって回答する生徒が増えました。

意見を述べることについては、朝道徳や授業、各学級での実践の成果が表れていると思います。昨年度はA（そう思う31%）B（どちらかといえばそう思う45%）であったのに対し、今年度はA（40%）B（44%）であり、自信をもってAを選択する生徒の増加はうれしいものです。

- ☞ **生徒の発言をつなげることで、学習の深まりをめざします。前向きな気持ちを授業やさまざまな活動に生かします。**

### ウ 交通ルールへの意識を高める必要があります。また、学校からの情報発信を充実させることが必要です。

「交通ルールを守り安全な登下校ができた」について、Aの回答は昨年度も今年度も70%弱です。命にかかわる大切なことに自信をもってAと回答できる生徒を増やす必要があります。

また、通信等を保護者に見せることについては、昨年度A（45%）→今年度A（42%）となっています。このことも影響し、「通信やHPから学校の様子がよくわかる」についての保護者結果は、昨年度A（32%）→今年度（25%）と大幅に下がっています。

- ☞ **各家庭と学校の連携の重要性を、生徒とともに再確認する機会を設けます。各種通信の配付時に、確実に保護者へ届けるよう意識付けをします。また、HPの更新を迅速にするとともに内容の充実を図ります。またHPのQRコード（各年度共通フォルダ内）を活用し、閲覧しやすくします。**

### エ 7月の在校等時間が80時間を超える割合が大きく減少しました。

在校等時間は、年を追うごとに全体的に縮減され、働き方改革は進みつつあるものの、月45時間以内という上限には至りません。仕事の偏りをなくすことやチームで仕事をする、教育活動の見直しなど職場環境をさらに整えていく必要があります。

- ☞ **職員の和を大切に、それぞれの部署で協働して取り組みます。各教育活動では、次年度以降を常に意識した取組をすることで課題を明らかにし、早期に改善案を作成できるようにします。**

### その他

- ☞ **2学期は大きな行事がたくさんあります。「ちょっと手伝ってほしい」や「何か手伝うことある？」という言葉がたくさん使い、多忙な時期を協力して乗り切ります。また、感染症対策による各行事の変更は避けられませんが、生徒に充実感を味わわせます。**